

はじめに (標準語編)

禅の世界には、『十牛図』という十枚一組の画えが伝えられています。

逃げた牛を追い求める牛飼いの姿を通して、人間が迷いから悟りへいたるまでの精神の十段階を象徴的にあらわしています。

この『十牛図』の意味するところを、平易なことばでリズムカルに言いあらわしたのが、本書です。

現代生活は、迷いや悩みごとに満ちています。

みなさまがご自分の立つ位置を確認されたり、新しい一歩を踏み出したりされる際に、どうぞ本書をお役立て下さい。

なお、本書には、標準語編と大阪弁編のふたつのヴァージョンを収めています。

東西の人生観や表現スタイルを比較しながら読み進めて頂くのも、一興です。

さあ、悟りの旅へ出かけましょう。



牛^{うし}さん 牛^{うし}さん どこ行^いった

足^{あし}あと残^{のこ}し どこ行^いった

これをたどれば すぐにでも

なじみの顔^{かお}を 見^みられるかい

三

見牛
けんぎゅう



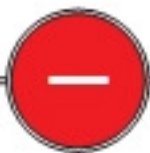


牛^{うし}さん 牛^{うし}さん どこ行^いった

顔^{かお}が見^みえたぞ 行^いかないで

おぼえてないかい わたしだよ

どうしてさっさと 逃^にげるのさ



尋^{じん}
牛^{ぎやう}



川 野 三 郎



よう見^みてみたら 牛^{うし}おらん

えらいこつちやで 牛^{うし}おらん

あいつがおらな 困^こるんや

どおれ 捜^さしに 行^いきまひよか